

事業名	8020運動推進事業費			調書番号	60
細事業名	歯科疾患予防事業費	財務コード	464703		
担当部課室	福祉保健 部	健康増進 課	健康企画 担当 (内線)	3503	

I 事業の概要

実施期間	始期 S 55 年度 ~ 終期 年度	
実施主体	県(直営)	
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして
	①すべての県民 ②歯科医療従事者 ③歯科行政担当者	①・歯と口の健康づくりの大切さを理解している。 ・定期的に歯科検診を受診している。 ・むし歯と歯周病の者が減少している。 ②表彰されることにより、励みとなっている。 ③他県と状況を把握。
結果、何に結びつけるのか	①各自「生涯を通じた歯と口の健康づくり」が実践できる。 ②歯科保健行政の協力が得られる。 ③本県の歯科保健対策に繋がる。	
内容	①山梨県高齢者よい歯のコンクール表彰 知事賞 最優秀賞(80歳以上、75~79歳、70~74歳 各1名)、優秀賞(80歳以上、75~79歳、70~74歳 各2名)計9名 (H28年度のみ12名) ②山梨県歯科保健功労者表彰 知事賞 (歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士:各1名)計3名 ③全国歯科保健大会、全国歯科保健推進研修会、関東甲信越地区歯科保健主管課長会議への出席	

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
活動指標	目標	①9 ②3 ③3	①9 ②3 ③3	①9 ②3 ③3	①9 ②3 ③3	①9 ②3 ③3	①9 ②3 ③3	①9 ②3 ③3
	実績(見込)	①9 ②3 ③3	①9 ②3 ③3	①9 ②3 ③3	①12 ②3 ③3	①9 ②3 ③3	①9 ②3 ③3	①9 ②3 ③3
	達成率	100.0	100.0	100.0	133.3	100.0	100.0	
	達成区分	b	b	b	a	b	b	
成果指標	①応募者数	60	60	60	60	60	60	60
	実績(見込)	42	36	54	38	36	41	
	達成率	70.0	60.0	90.0	63.3	60.0	68.3	
達成区分	c	c	b	c	c	c		
決算(予算)単位:千円		110	132	49	202	110	170	101

III 事業の評価(平成29年度の業績評価)

活動指標	b	評価	予定通り実施できている。 ①山梨県高齢者よい歯のコンクールの応募者は横ばいだが、県内の8020の達成率は50%を越えた。 ②山梨県歯科保健功労者表彰:H26年から技工士会も含めるようになった。 ③大会、研修会、会議への出席:毎年参加するようになった。
成果指標	c		県内の8020の達成率は50%を越え、歯が残りう蝕も減少したが歯周病が増加しているため、高齢社会にむけ更なる歯と口の健康づくりの実践が求められる。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。  
・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

関係与の必要性	判定	<input type="checkbox"/> 必要性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input checked="" type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (医療費における歯科の割合は高いため、歯と口の健康づくりの実践の普及は必須である。)
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	歯と口の健康が全身の健康と関連することが指摘され、色々な場面、職種で歯と口の健康づくりの実践が普及されているため、成果向上が可能。また、健康寿命の延伸のためにも、成果を向上させる必要がある。
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他 ( )
その他	説明	
見直しの必要性	有	山梨県高齢者よい歯のコンクールの応募者が横ばいのため、周知の方法を検討する必要がある。

V 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	周知方法の検討
----------	----	---------

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。